



重誓寺報

第18号 平成23年5月発行

この度の東日本大震災では一日にして一万人以上の命が失われ、多くの方々家が失うなど被災されました。誰もがこの日、自分にこのようなことが起こるとは予想されなかったでしょう。まさにこの世の無常を感じる出来事でありました。私たちは昔から大地や海からその恩恵を受けてきました。時には、自然は人間のために存在し、完全に支配したと勘違いすることもあったのではないのでしょうか。

また科学の発達により、生活は便利になり、元へは戻れなくなってしまいました。そして原子力という、まだまだ人の手ではコントロールできないものまで利用するようになりました。

私たちは自然の命からその恵みを受けなければ生活できません。科学も大いに利用して豊かな生活を送らせて頂くのは結構なことですが。しかし、人間はあくまで地球上に住む生物の一つでしかありません。同じ世界に住んでいる以上は、地球上で共存できるよう、改めて今までの生活を考え直す時ではないのでしょうか。

法座のご案内

重誓寺では毎月、法座が勤まります。

勤行約三十分、法話約一時間

宗祖降誕会法要

五月二十日（金）、二十一日（土）

昼二時、夜七時半（二十一日は昼のみ）

講師 高澤 正文 師

常例法座

六月二十日（月）

昼二時、夜七時半

講師 平戸 昭乗 師

七月二十日（水）

昼二時、夜七時半

講師 寺本 正尚 師

八月二十日（土）

昼二時、夜七時半

講師 石川 欣也 師

震災義援金のお願い

本願寺におきまして、「東日本大震災義援金」の受付を行っております。

お預かりした義援金は本願寺運営委員会にて審議のうえ、被災地にお届けいたします。

郵便振替

01000 | 4 | 69957

加入者名 たすけあい募金

通信欄に「東日本大震災」と

ご記入ください

また重誓寺まで

お持ち頂けれ

ば、一括で振り

込みいたしま

す。



浄土真宗の基礎知識

「お祝い事は大安に」や「友引に葬儀はいけない」と言われることがしばしばあります。

大安、友引などは六曜と呼ばれ、六日ごとに曜日を決めた中国の故事から伝えられています。

元来、勝負事を占うためのものであったようで、しかも当時使われていた文字は現在のものとは違い、例えば「友引」は元々、「共引」であり、引き分けという意味合いであったそうです。

そう考えるとこれらを仏事に当てはめるのは、単なる語呂合わせであって、何の根拠もないことであります。

そもそも日にちに善し悪しをつけたり、

占いによって決めることは、浄土真宗では最も避けなければならぬこととされています。

私たちは常日頃から、良いことは自分の手柄とし、悪いことはその原因を何に押しつけようとしめます。

そもそも出来事の善し悪しは、自分の都合でしかありません。

良いことであっても、悪いことであっても、それは私に与えられた業と受け止める必要があります。

世間にはまだまだ根拠のない迷信がたくさんあります。

これらに惑わされないことが、仏様の教えに沿った生活を送ることもあります。

第13回 重誓寺落語会のご案内

恒例となりました重誓寺落語会を下記のとおり開催いたします。
皆さまお誘い合わせの上、お越してください。

日時 5月22日（日）

午後2時開演

（1時30分開場）

出演・演目

桂 小春團治

「さるごけ猿後家」



桂 蝶六

「うまやかじ厩火事」



桂 治門

「牛ほめ」



サイン色紙などが当たる抽選会もあります。

浄土真宗 本願寺派(西本願寺)重誓寺

じゅうせいじ

大阪市旭区中宮2-4-19 電話・FAX06(6951)0090

<http://juseiji.net/>

ホームページからバックナンバーを含めご覧いただけます。